

令和7年度 第1回 岡山県事業評価監視委員会 議事要旨

○開催概要

- 1 日 時 令和7年9月2日(火) 13:30～15:20
- 2 場 所 ピュアリティまきび「千鳥」
- 3 出席者 岡山県事業評価監視委員会 委員 7名
土木部 技術総括監
農林水産部 参与(農林技術)
事務局(技術管理課、農政企画課)
道路建設課、道路整備課、河川課、防災砂防課、港湾課、
都市計画課、耕地課、農村振興課、水産課

○議事概要

- 1 開 会
- 2 挨 拶(土木部 技術総括監)
- 3 事前評価

(事務局)	令和7年度事前評価対象事業の概要説明 (土木部関係5件) 道路事業 ①県道 山城宮尾線 津山市宮尾地内 工 種：道路改良(現道拡幅) 概 要：L=600m W=6.0(7.5)m 事業費：約2.0億円 事業期間：5年間 事業目的：県南地域から久米産業団地に至るルートのうち、唯一残存している幅員狭小区間の解消。 現道を拡幅し、2車線整備することで、車両の円滑な通行を確保するとともに、久米産業団地へのアクセス改善を図る。 評価結果：7A/4C 河川事業 ②二級河川 新川 浅口市金光町八重～金光町占見新田地内 工 種：河川改修 概 要：築堤、護岸、河道掘削等 L=2.3km
-------	---

(事務局)	事業費：約 20.0 億円 事業期間：20 年間 事業目的：平成 30 年 7 月洪水と同程度の洪水に対し、 人家等浸水被害の軽減を図る。 評価結果：8A/5C 砂防事業 ③見明谷川 新見市唐松地内 工 種：砂防 概 要：砂防堰堤 1 基 H=9.0m L=61.4m 事業費：約 2.9 億円 事業期間：7 年間 事業目的：保全対象の人家 57 戸、指定避難所の旧唐松 小学校等への土石流災害の防止及び被害の 軽減を図る。 評価結果：8A/5C 海岸事業 ④児島港海岸 児島地区 倉敷市児島元浜町地内 工 種：海岸保全施設整備（高潮対策） 概 要：胸壁工 L=417m 事業費：約 1.2 億円 事業期間：5 年間 事業目的：背後には住宅地が広がり、国道 430 号や JR 瀬戸大橋線等の重要な交通網が整備されて いることから、高潮対策により浸水被害から防 護する。 評価結果：8A/4C 街路事業 ⑤都市計画道路 駅前バイパス線 都窪郡早島町前潟地内 工 種：道路改良（バイパス） 概 要：L=940m W=6.0(18.0)m 事業費：約 28.0 億円 事業期間：10 年間 事業目的：県道倉敷妹尾線のバイパスとして都市計画道路
-------	--

(事 務 局)	駅前バイパス線の一部区間を整備し、交通混雑の解消や安全・安心な通学等の確保を図る。 評価結果：8A/5C (農林水産部関係 1 件) 農業農村整備事業 ①児島三五区 6 期 工 種：防災事業 (海岸保全) 概 要：堤防補強工 L=548m 事 業 費：約 5.2 億円 事業期間：5 年間 事業目的：堤防などの海岸保全施設を改修することにより、高潮・波浪等による農地・農業用施設、人家や公共施設への被害を未然に防止する。 評価結果：8A/5C 令和 7 年度審議対象事業の説明 (土木部関係 2 件)
(河 川 課)	河川事業 ②二級河川 新川 浅口市金光町八重～金光町占見新田地内 新川は、岡山県の南西部に位置し、浅口市の中心市街地を緩やかに東へ流れ、二級河川里見川水系の里見川に合流する里見川の支川であり、幹川流路延長 4.94 キロメートル、流域面積 5.9 平方キロメートルの二級河川である。 平成 30 年 7 月豪雨災害で、越水等により浅口市で浸水面積 83ha、浸水家屋 32 戸の甚大な被害が発生したことから、河川改修を進めるため、令和 7 年 2 月に里見川水系河川整備計画を策定し、計画に位置付けられた新川の事業化に向け、このたび事前評価に諮ることとした。 本事業は、浅口市金光町八重地内から浅口市金光町占見新田地内において、河川改修を計画しており、計画延長 L=2.3km、事業費約 20 億円、事業期間 20 年間を見込んでいる。 主な事業内容は、築堤や護岸、河道掘削を実施する予定であり、平成 30 年 7 月洪水と同程度の洪水に対する人家等浸水

(河 川 課)	被害の軽減を図る。 整備効果である便益と費用から、事業化判断の目安である費用対効果(B/C)は4.6であり、浅口市や地元の協力体制も整っていることから、本計画を実施したいと考えている。
(委 員)	事業目的に平成30年7月洪水と同程度の洪水に対する人家等浸水被害の軽減を図るとあるが、再度災害の防止が河川事業の決まり事なのか。
(河 川 課)	県のルールではないが、大きな災害の被害を軽減する目的としており、将来計画を見越した段階整備としている。
(委 員)	完成後は、平成30年7月洪水を上回る規模の出水にも対応できるのか。
(河 川 課)	本事業では、平成30年7月洪水と同程度の洪水に対する浸水被害の軽減を目的としている。
(委 員)	想定を上回る規模の大きな豪雨災害はいつ発生するか分からないが、1～2割程度の安全率を見込んでいるのか。
(河 川 課)	平成30年7月豪雨は、気候変動による影響があったものと考えており、まずはこの対策を進めてまいりたい。
(委 員)	3点質問がある。 1) 浸水範囲が大きく2つに分かれており、それぞれの浸水要因は何か。 2) 浸水家屋32戸の浸水深や被害状況はどうか。 3) 横断図②－②'の築堤は、左右岸で同じなのか。住宅側は少し高くするなどの配慮をしているのか。
(河 川 課)	1) 山で浸水範囲が大きく2つに分かれており、金光町占見新田側の浸水範囲は、現況の流下能力が不足している箇所があり越水により浸水したと考えられるが、金光町八重側の浸水範囲は、内水も原因の一つと考えられる。 2) 調査結果によると、浸水家屋32戸全てが床下浸水になっ

(河 川 課)	ており、浸水深さは 50cm 未満程度であったと考えられる。 3) 基本的には同断面で考えている。測量や設計の際には、人家等の背後地状況を考慮しながら、人家等に影響のない範囲で工夫することもある。
(委 員)	多くの面積が田んぼだが、田んぼへの浸水も防ぐ対策なのか。
(河 川 課)	河川改修事業では、田んぼへの浸水を防ぐ対策はしていない。
(委 員)	B / C 算出時の想定氾濫区域と平成 30 年 7 月洪水の浸水範囲は同じか。
(河 川 課)	概ね同じ範囲である。
(委 員)	J R 山陽本線に被害はなかったか。
(河 川 課)	J R 山陽本線は、バラストが少し高い場所に敷設されており、被害は出ていない。便益は経済センサスを使ってメッシュで算定しているため、床下浸水程度の浸水被害として取り込まれているが、大きな被害額になっていないと考えている。
(委 員)	金光町八重側の浸水範囲は、内水も原因の一つという話であったが、この事業の河道掘削は内水対策にもなるのか。
(河 川 課)	河川改修では、外水対策を対象としている。下流側の河道掘削により、内水への効果も多少はあるかもしれないが、河道掘削は基本的に上流側の便益に効果がある。
(委 員)	この計画に内水対策は入っていないと考えて良いか。
(河 川 課)	入っていない。内水対策は市町村が行うものであり、連携して進めてまいりたい。

(委 員)	2.1km 付近の横断図②-②' は、この堤防高で平成 30 年 7 月洪水対応となるのか。
(河 川 課)	築堤と河道掘削等により、この堤防高で平成 30 年 7 月洪水対応となる。
(委 員)	県の評価は妥当であるとしてよろしいか。 (異議なし)
(委 員)	県の評価は妥当であるとする。
(都市計画課)	街路事業 ⑤都市計画道路 駅前バイパス線 都窪郡早島町前潟地内 現道である県道倉敷妹尾線は、倉敷市中心部から岡山市妹尾地区に至る延長約 11km の道路で、地域間の連携や日常生活を支える重要な路線である。 事業区間の現道は、幅員狭小で交通量が多く渋滞が発生しており、歩道の未整備区間があり通学路が危険な状態であることから、早急な整備が必要であるが、沿道に建物が連担し現道拡幅が困難なため、近傍の都市計画道路駅前バイパス線の一部区間をバイパスとして整備するものである。 本事業の計画延長は 940m、幅員は 18m、車道 2 車線と両側に自転車歩行者道を整備するもので、事業費 28 億円、事業期間は 10 年間を見込んでいる。 事業化判断の目安である費用対効果 (B/C) は 3.7、評価結果は、事業の必要性が 8A、事業化熟度が 5C であり、いずれも事業化の要件を満たしており、整備効果も期待されることから、本事業を実施したいと考えている。
(委 員)	現況交通量が 10,564 台／日、将来交通量は 7,400 台／日と減っているように見えるが、現況交通量とは現在の現道の交通量、将来交通量とは将来のバイパスの交通量ということではないか。

(都市計画課)	そのとおり。
(委 員)	今回の整備により、現道の渋滞は解消するのか。
(都市計画課)	事業区間の現道は、東西交通と南北交通の混在により交通量が多くなっているが、今回のバイパス整備により南北交通の多くがバイパスに転換することで現道の渋滞が改善すると考えている。
(委 員)	一日にどれくらいの交通転換を見込んでいるか。
(都市計画課)	現道からバイパスへの交通転換を約 3,000 台／日、並走する町道からバイパスへの交通転換を 1,800 台／日と見込んでいる。
(委 員)	現道の渋滞対策のため、バイパスを延伸する考えはあるか。
(都市計画課)	現道の渋滞対策としては、今回の事業区間の整備で効果があると考えている。
(委 員)	用地買収が難航して事業期間が長期化することを危惧している。用地協力の状況を教えてほしい。
(都市計画課)	事業に対する地元同意は概ね得られており、地元自治体の協力体制も整っていることから、円滑な用地協力が得られるよう進めてまいりたい。
(委 員)	県の評価は妥当であるとしてよろしいか。 (異議なし)
(委 員)	県の評価は妥当であるとする。

4 再評価

(事務局)	令和7年度の再評価対象事業の概要説明 (土木部関係4件、農林水産部関係2件、笠岡市1件) (1) 事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業 海岸保全施設整備事業(高潮対策) ①寄島漁港海岸 浅口市寄島町地内 (2) 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業 道路改良事業 ②県道 水島港唐船線 倉敷市玉島勇崎～浅口市金光町大谷地内 ③国道429号 加賀郡吉備中央町小森～久米郡美咲町西川地内 浚渫土処理護岸建設事業 ④国際拠点港湾 水島港 倉敷市玉島乙島地先 広域営農団地農道整備事業 ⑤井原芳井地区 井原市西江原町～芳井町山村地内 (3) 知事が特に再評価の必要があると認める事業 道路改良事業 ⑥地域高規格道路 美作岡山道路 岡山市東区瀬戸町塩納～勝田郡勝央町黒土地内 (4) 市町村事業 ⑦市道 茂平148号長瀬笹無線 笠岡市茂平地内
(事務局)	再評価審議案件の抽出結果 (令和7年度再評価対象事業7件から) ①海岸保全施設整備事業 寄島漁港海岸 ②道路改良事業 県道 水島港唐船線

(事 務 局)	⑤広域営農団地農道整備事業 井原芳井地区 ⑥道路改良事業 地域高規格道路 美作岡山道路
-----------	--

5 進捗状況報告

(事 務 局)	再評価後 2 年を経過した事業の進捗状況報告 (1 件) ①交通安全事業 県道 総社足守線 位 置：総社市黒尾～西阿曾地内 事業期間：平成 25 年度～令和 10 年度 進 捗 率：66%
-----------	--

6 閉会